

**ROBERT et RAYMOND HAKIM**

*présentent*

**ALAIN DELON  
MARIE LAFORET  
MAURICE RONET**

*Dans un film de*  
**René Clément**



# PLEIN SOLEIL

D'APRÈS LE ROMAN "M<sup>r</sup> RIPLEY" DE PATRICIA HIGHSMITH  
GRAND PRIX DE LA LITTÉRATURE POLICIÈRE

ADAPTATION ET DIALOGUE DE

**RENÉ CLÉMENT et PAUL GEGAUFF**

avec

**ERNO CRISA \* FRANK LATIMORE \* BILL KEARNS \* AVE NINCHI**  
AVEC LE CONCOURS DE

**ELVIRE POPESCO**

IMAGES DE HENRI DECAE \* MUSIQUE DE NINO ROTTÀ \* CHEF DÉCORATEUR PAUL BERTRAND  
**EASTMAN COLOR**

*une production*

**ERT et RAYMOND HAKIM**



# 太陽がいっぱい

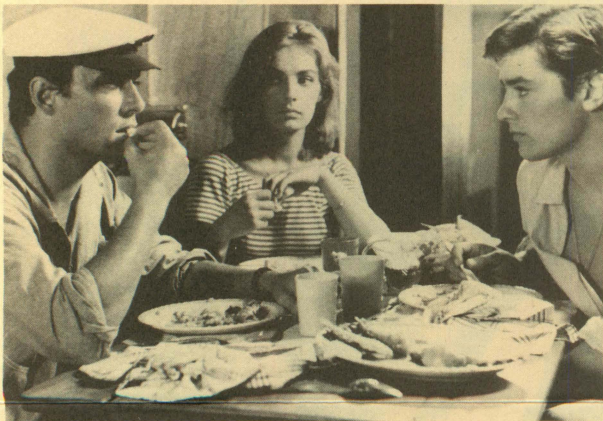
ONLY  
HEARTS  
Co., Ltd.

## 灼けつく永遠の青春

貧しいニューヨークの青年トム・リプリーは、富豪の息子フィリップを連れ戻す依頼を高額の報酬で引き受け、イタリアへと向かう。狂ったように照りつける太陽、まっ青な海、乾いた空気、カラフルな街並み。トムにとってすべてが新鮮だった。

ところがフィリップは、アメリカに戻る気などなかった。家を持ち、ヨットを操り、美しい恋人マルジュがいる優雅な生活を彼が捨ててははずなどなかったのだ。それどころかトムを召使のごとく自分に服従させるフィリップ。次第にトムは、フィリップに対して愛と同じほどの憎しみを抱くようになる。ついにセーリング中のヨットでフィリップを殺し、遺体を海に投げ捨ててしまう。

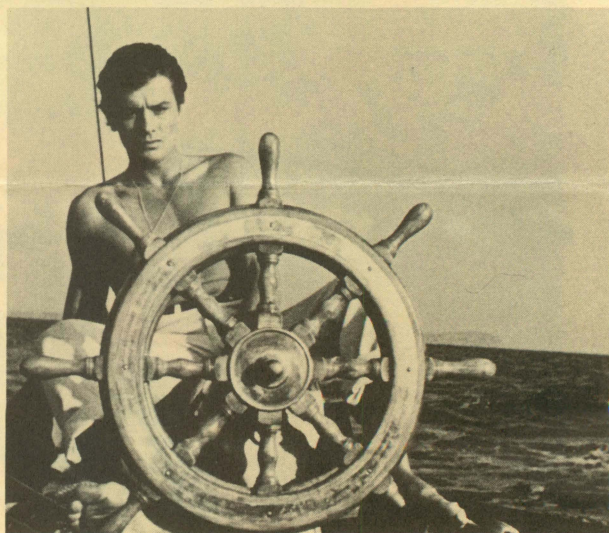
フィリップに成り済まし豪華な暮らしをしながら、犯罪を隠蔽するトム。ばれそうになってフィリップの友人フレディを殺害。その罪をフィリップになすりつけ、トム・リプリーとしてマルジュの前に現れる。彼女を手に入れた朝、降り注ぐ陽光を浴びて、黄金色の勝利の酒を手にするトムだったが……



### ◆ホモセクシャル映画!?

原作は、男ひとりと男と女で取り合う三角関係の物語。本作が製作された1959年当時はまだホモセクシャルがタブー視されていたこともあって、映画ではその辺のニュアンスが巧みにオブラートで包まれている。以前から、淀川長治氏が、何気ないシーンにトムとフィリップの情念が窺われていることを指摘しているが、今ならわかる!?

製作：ロベール・アキム/レイモン・アキム 監督：ルネ・クレマン 脚本：ルネ・クレマン/ポール・ジェゴフ 撮影：アンリ・ドカエ 音楽：ニーノ・ロータ  
出演：アラン・ドロン/マリー・ラフォレ/モーリス・ロネ 1959年度/フランス=イタリア/カラー/119分/ヴィスタ/ニュープリント  
字幕新宿民決定版 (訳：細川直子) 配給：オンリー・ハーツ 〒160 東京都新宿区若葉2-9 ガーデンヒルズ四谷307 TEL 03・5379・5001 FAX 03・5379・5004



### ◆ニュープリント、新訳

製作から35年。約20年ぶりに4度目の公開。人気字幕翻訳家細川直子の新訳によるニュープリント長尺版。かつて熱狂した世代にも、そしてテレビやビデオでしか見たことのない世代にも、必ず新たな発見があるはずだ。

### ◆ドロン+クレマン VS ベルモンド+ゴダール

『太陽がいっぱい』が製作されたのは1959年(公開は60年)。あのジャン=リュック・ゴダール監督、ジャン=ポール・ベルモンド主演の『勝手にしやがれ』も同年製作。ドロンとベルモンドともに一躍大スターの座を獲得。その後フランス映画界の二枚看板として君臨。両作品は、映画史上の記念碑的作品となった。

### ◆ルネ・クレマン+アンリ・ドカエ

当時、ヌーヴェル・ヴァーグの論客フランソワ・トリュフォーから激しく攻撃されていた巨匠ルネ・クレマンが、ヌーヴェル・ヴァーグを代表する名カメラマン、アンリ・ドカエ(『大人は判ってくれない』『死刑台のエレベーター』)を起用。しかも、ドカエに生涯最高の作品と云わしめた。

### ◆世界的な米国人推理作家パトリシア・ハイスミス原作

『太陽がいっぱい』(河出文庫刊)はP.ハイスミスの“トム・リプリー”シリーズ第1弾。クライム・ノヴェルとよばれ、永遠の現在を志向する新しいタイプのミステリーだ。ちなみに、ヴィム・ヴェンダース監督の『アメリカの友人』はシリーズ第3作目の映画化。



## 8月6日(土)よりロードショー!

特別鑑賞券 一般:1,400 ペア:2,600(税込)絶賛発売中!

(当日 一般:1,700 学生:1,400 小人・シニア:1,000の処)

銀座三越先・歌舞伎座手前 03・3561・4660

GINZA CINE PATHOS

銀座シネパトス

連日 10:30 12:45 3:00 5:15 7:30

